

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

サステナビリティ レポート 2021

— ダイジェスト編 —

p.1
トップメッセージ

p.2
組織のプロフィール

p.3
[重点テーマ1]
すべての人の健康で豊かな暮らしの
実現

p.5
[重点テーマ2]
すべての人が活躍できる働く場づくり

p.7
[重点テーマ3]
気候変動の緩和と適応への貢献

p.9
[重点テーマ4]
投資を通じた持続可能な社会への
貢献

CREATE VALUE FOR PEOPLE AND SOCIETIES.

保険を、人と社会のために。



経済的価値と社会的価値の双方を創出する 「共有価値の創造」により 世の中のしあわせをつくる

新型コロナウイルス感染症に対する取組み

2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、2021年現在も未だ収束に至らず、世界中で多くの方々さまざまな被害を受けています。

今回のパンデミックのような世界的な危機のもとでこそ、社会の安定と持続可能性を高めることがますます重要になっていると考えています。

生命保険事業をコアビジネスとする当社グループは、新型コロナウイルス感染症による経済や健康への影響を自らが対処すべき課題と捉え、グループ各社がこの課題に対応する商品・サービスの提供に取り組んでいます。

グループ長期ビジョンの策定／SDGs経営と価値創造

当社グループでは、中長期的な目指す姿とその到達に向けた戦略方針を示す、『グループ長期ビジョン「Try & Discover 2025」～すべてのステークホルダーのしあわせのために～』を策定し、グループの成長のために取り組む「5つの重点テーマ」を設定しました。

重点テーマの1つを「SDGs経営と価値創造」にするとともに、社会的価値の創造を定量的に測る「非財務KPI」を新たに設定し、「世の中のしあわせ」の実現に取り組んでまいります。

世界と共有する想い／社会課題に対する取組み

世界中の人々に共通する社会的課題は、新型コロナウイルス感染症のほかにも、気候変動や人権問題など数多く存在します。当社グループは、2020年に「気候変動リスク対応専門部会」を設置し、ネットゼロ／カーボンニュートラルに向けた取組みを検討・実践しています。その一環として、「CO₂削減目標」の達成期限を2030年から2025年に早期化し、長期ビジョンの「非財務KPI」の1つに位置づけたほか、ESG投資にも積極的に取り組んでいます。

また、人権の尊重に関しては、当社グループの人権尊重の考え方について表明する「T&D保険グループ人権方針」を制定しています。この方針に則り「人権デューデリジェンス」を定期的に行い、当社グループの人権対応に問題がないか検証しています。

T&D保険グループの果たすべき責任／目指す世界

当社グループは、商品・サービスを通じてお客さまに安心・安全を提供することをその本業としています。また、機関投資家としての資産運用業務は、経済の発展やサステナブルな社会の実現にも密接な関わりを持っており、公共性の高い事業です。当社グループは、これらの事業を通じて社会に貢献する責任を有していると考えています。

当社グループは、新たに策定した「グループ長期ビジョン」に取り組むことにより「共有価値の創造」を実現し、「世の中のしあわせ」を生み出すことによって、その社会的責任を果たしていきます。

株式会社T&Dホールディングス代表取締役社長

上原弘久



組織の プロフィール

●グループ規模



経常収益

24,139

億円



経常利益

2,281

億円



純利益*

1,623

億円



従業員数

19,615

名

*親会社株主に帰属する当期純利益

●グループストラクチャー (2021年7月1日現在)



上記以外の主なグループ会社

保険および保険関連事業

- T&Dコンファーム株式会社
- 東陽保険代行株式会社
- 株式会社大同マネジメントサービス
- 株式会社太陽生命少子高齢社会研究所
- Capital Taiyo Life Insurance Limited
- Fortitude Group Holdings, LLC
- Fortitude Reinsurance Company Ltd.

資産運用関連事業

- T&Dリース株式会社
- 太陽信用保証株式会社
- エー・アイ・キャピタル株式会社
- T&D United Capital North America Inc.

総務・事務代行等関連事業

- T&Dカスタマーサービス株式会社
- T&D情報システム株式会社
- 日本システム収納株式会社
- 株式会社全国ビジネスセンター
- Thuriya Ace Technology Company Limited

すべての人の健康で豊かな暮らしの実現

T&D保険グループは、お客さまのニーズにあった質の高い商品・サービスを提供することにより、保険事業を通して社会への責任を果たします。

方針	2020年度の結果	2021年度の予定
<p>お客さまのニーズにあった最適で質の高い商品・サービスを提供することにより、保険事業を通して社会の持続的成長と社会的課題の解決に貢献する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症も保障する「感染症プラス入院一時金保険」の提供 ● 株式会社justInCaseと協働し「コロナ助け合い保険」を無償で提供 ● 「太陽の元気プロジェクト」を展開 ● 「KENCO SUPPORT PROGRAM」(健康経営サポート)の提供 ● 多様化するお客さまニーズに応えるため、商品ラインアップを拡充 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会のニーズに応える商品・サービスの提供を引き続き実施 ● 「ガン・重大疾病予防保険」の提供 ● 一時払変額終身保険「ハイブリッドアセットライフ」の提供 ● 中小企業経営者のニーズにお応えしたトータル保障の商品ラインアップの拡充、保障内容の最新化、各種手続きの自在性・利便性の向上等を実施 等

太陽生命の取組み

太陽生命は、シニアマーケットでのトップブランドの構築をさらに進め、お客さまに一生にわたる安心を提供するため、高品質の商品・サービスの提供に取り組んでいます。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたお客さまに対し、簡易かつ迅速に給付金等のお支払いをするための各種支援策を実施しました。

時代の変化を先取りした商品開発

2020年9月に「感染症プラス入院一時金保険」を新たに発売しました。お客さまが心配される治療費や入院に伴う諸費用・収入減等の影響に対して、生活をサポートすることができる同商品は、発売からわずか13日で販売件数が1万件を超えました。

非対面募集「リモート申込」の導入

2021年1月には、「リモート申込」(非対面募集)を導入し、保険の申込手続きからお支払手続きまでのデジタル化を実現しました。この「リモート申込」により、新型コロナウイルス感染症の影響で非対面でのサービスを求めるお客さまに、ご自身のスマートフォンやパソコンにて簡単にご加入いただけるようになりました。

予防への取組み

2021年3月、太陽生命は、味の素株式会社、H.U.フロンティア株式会社、株式会社セルメスタ(現H.U.ウェルネス株式会社)の3社と業務提携し、「現在、がんである可能性」と「将来、脳卒中・心筋梗塞、糖尿病になるリスク」を一度に評価できる「アミノインデックス®リスクスクリーニング」のご案内を開始しました。



大同生命の取組み

大同生命は、中小企業市場に特化した生命保険会社です。中小企業を取り巻く環境変化をふまえた商品・サービスを提供しており、37万社の企業からご契約をいただいています。

がんステージ限定型Jタイプの発売

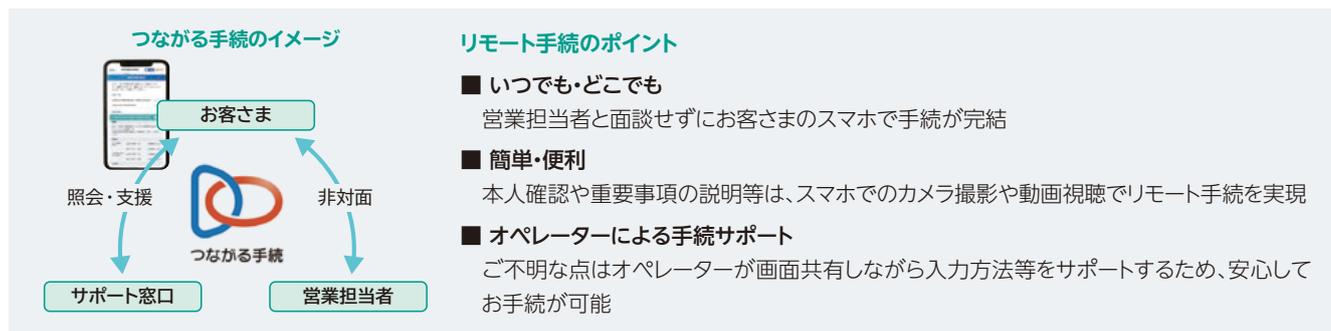
2020年12月、医療技術の進歩など時代の変化にあわせつつ、より多くのお客さまに重大疾病保障を確保いただけるよう、経営への影響が大きい重篤ながん(ステージⅢ・Ⅳ相当)を重点保障する「がんステージ限定型Jタイプ[無配当重大疾病保障保険(がん保障ステージⅢⅣ限定・無解約払戻金型)]」を発売しました。



つながる手続

お客さまの手続きの利便性向上や、ウィズ・コロナにおける“新しい生活様式”に適応し、お客さまのニーズに応じて「対面の安心」と「非対面の手軽さ」を選択いただけるよう、「つながる手続」として、すべての保険手続きで非対面化の実現を目指しています。

保険ご加入に際しては、保障内容ご決定以降の加入手続をスマートフォンやパソコン等で完結することにより、時間や場所の制約なくお客さまのタイミングに合わせて、ご自宅や職場等でお手続きが可能です。



T&Dフィナンシャル生命の取組み

T&Dフィナンシャル生命は、銀行等の金融機関や来店型の保険ショップを通じて、多様化するお客さまニーズに応えるため、商品ラインアップを拡充し、タイムリーに保険商品を提供しています。

社会・経済環境の変化を踏まえた商品の開発

2021年2月、死亡保障をなくし病気やケガによる「収入減少」と「支出増加」にそなえる商品として「働くあなたにやさしい保険2」を発売しました。

また2021年6月には、「ハイブリッド アセット ライフ」を発売しました。本商品は、「投資信託」と「生命保険」の融合により、人生100年時代の自助努力による資産形成をサポートする円建の一時払変額終身保険です。人生をさらに楽しむために、長期分散投資を中心とした運用を継続しながら、計画的な資産の取り崩しを図るとともに、ご自身やご家族のために介護・認知症や相続に備えることができる商品として開発しました。

お客さまサービス向上に向けた取組み

T&Dフィナンシャル生命では、お客さま満足度のさらなる向上のため、さまざまな取組みを検討し、推進しています。2020年4月には、株式会社インターネットインフィニティーが提供する介護・認知症サポートサービス「介護コンシェル」を介護・認知症に関する保障がある保険契約のお客さま向けに導入しました。また、ご高齢のお客さま、障がいのあるお客さま向けのサービス向上に向け、事前にご登録いただいたご家族が、一定範囲の請求手続きを代理実施できる「ご家族登録制度」を創設しました。

T&Dアセットマネジメントの取組み

投資を通じた健康社会促進への貢献

T&Dアセットマネジメントでは、ESGの観点から優れた企業への選別投資や健康関連銘柄、健康経営銘柄への投資を通じ「健康を維持し、高齢者を支える」という社会課題の解決に貢献しています。

ペット&ファミリー損害保険の取組み

大切な家族のために

新型コロナウイルスの感染拡大によるペット需要の拡大を背景に、ペット医療およびその費用への関心がますます高まっています。こうした状況を踏まえ、ペットが病気やケガにより動物病院で治療を受けた費用の一定割合を補償する商品をご提供しています。



重点テーマ 2

すべての人が活躍できる働く場づくり

T&D保険グループは、すべての人の人権を尊重し、従業員の人格と多様性を尊重するとともに、健康で安全に働ける環境の確保と人材育成に向けたさまざまな取組みを進めています。

方針	2020年度の結果	2021年度の予定
すべての人の人権を尊重すること、また、従業員の人格と多様性を尊重するとともに健康で安全に働ける環境を確保し、人材育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ● 人事・処遇制度の改定や育児、介護等との各種両立支援制度を導入 ● 男性の育児休業取得の推進 ● 東洋経済新報社等企画の「プラチナキャリア・アワード」において「優秀賞」を受賞 ● テレワークに必要なITインフラの整備、オンライン会議システムの導入・推進 等 	多様な人材が働きがいと成長への意欲を持って能力発揮できる、柔軟で活力ある職場づくりを引き続き進めていく

人材の活用と育成 — 成長の機会を提供する取組み —

従業員のキャリア形成

生命保険会社3社では、「OJT(実際の仕事を通じた教育)」「集合研修」「自己啓発支援」を柱とした教育研修を実施しています。資格取得に対する積極的なサポート、通信教育やe-ラーニングなど多様なカリキュラムの提供により、従業員一人ひとりの自律的なキャリアアップを支援するほか、従業員がさまざまな業務経験を積むことにより、広い視野で業務を遂行する能力を高められるよう、計画的な異動(ローテーション)を実施しています。

管理職研修

● 太陽生命

年間を通じて、管理職としてのマネジメント知識・スキル習得を目的とした研修を実施しており、支社長向けの自己啓発支援教材(映像によるセミナー視聴教材)を導入しています。



● 大同生命

新任の管理職を対象に社外の大学院・ビジネススクール等への派遣を選抜研修として実施しています。また、部下のキャリア形成支援のため、ガイダンスを通じた育成スキル習得を目的とする研修も実施しています。



● T&Dフィナンシャル生命

基幹管理職に必要なマネジメントの基本の習得およびリスク管理・コンプライアンス等の理解を促進するため、新任基幹管理職研修を実施しています。



女性の活躍を支援する取組み

T&D保険グループにとって、女性のさらなる能力発揮は持続的な企業価値向上の源泉であり、女性活躍はグループの重要な経営課題です。この認識のもと、生命保険会社3社では、人事・処遇制度を改定するとともに、育児、介護等との各種両立支援制度を導入しています。また、グループ協働で総労働時間の縮減や男性の育児休業取得の促進にも取り組み、誰もが働きがいを持って活躍できる職場づくりを進めています。

女性管理職比率の推移(3社合計)





ワーク・ライフ・バランスへの取組み

T&D保険グループ各社では、従業員が家事や育児、介護などの家庭の責任を果たしながら仕事で十分に能力を発揮するため、育児休業などの制度の充実や総労働時間の縮減など、さまざまな取組みを強化しています。また、女性活躍を推進するうえで、女性がライフイベントを経験しながら長く働き続けられる職場づくりは欠かせないものと考えています。その一環として男性の育児参加を奨励し、生命保険会社3社では男性の育児休業取得率が100%となるなど、グループ一体となってワーク・ライフ・バランスの実現を推進しています。

生命保険会社3社の出産・育児・介護休業の取得状況(2020年度)



*生命保険会社3社内務職員の有給休暇の取得状況です。

健康経営の取組み

グループの取組み

社内禁煙の取組み

T&D保険グループでは、受動喫煙防止対策の強化と心身の健康増進の観点からグループ各社で2018年7月より社内禁煙(社屋内喫煙所の廃止・就業時間内の喫煙禁止)を実施しています。

健康保険組合

生命保険会社3社には独立した健康保険組合があり、組合員の生活習慣病の予防や健康増進などに努めています。毎年受診する人間ドックなどの健康診断費用の補助、がん検診の推進などを行っています。

グループ会社の取組み

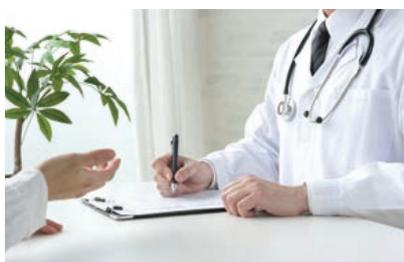
●太陽生命

生活習慣病の予防等を目的に、山形県上山市と協働でクアオルト健康ウォーキング、スマート・ライフ・ステイ(宿泊型特定保健指導)など各種支援を実施しています。2021年度より、「現在がんである可能性」などを一度に評価できる「アミノインデックス®リスクスクリーニング」を実施し健康経営に向けて取り組んでいます。



●大同生命

パソコンの自動シャットダウンや計画年休など労働時間縮減に向けた取組み、定期健診の早期全員受診、セカンドオピニオンやがんに関する相談窓口の設置、ウェアラブル端末の提供などを「DAIDO-ココ・カラ」と総称し、すべての従業員が心身ともに健康でいきいきと働ける職場の実現を目指しています。

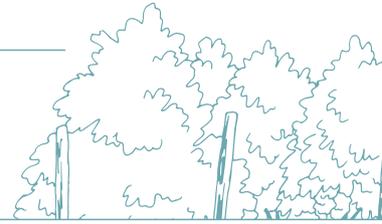


●T&Dフィナンシャル生命

「働きがいのある職場づくり」を経営施策に掲げ、ノー残業デー・早帰りデーの実施や業務用パソコンの自動シャットダウンなど労働時間縮減に向けた取組みを進めるほか、定期健康診断の完全実施、ストレスチェック、社内喫煙エリアの廃止など、従業員の健康増進に向けた施策を実施しています。



気候変動の緩和と適応への貢献



T&D保険グループの事業活動にとって、地球規模の気候変動は事業継続のリスクであると同時に、新しい活動の機会でもあります。当社グループは、環境問題の重要性を十分認識し、生命保険業等の公共的使命と企業の社会的責任を果たします。

方針	2020年度の結果	2021年度の予定
<p>お客さまに保険商品・サービスを提供する自らの事業活動を通じて、また機関投資家としての行動を通じて、気候変動の緩和と適応に貢献する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● CO₂排出量削減目標を設定し、新たに策定した「グループ長期ビジョン」の非財務KPIに位置づけ ● 気候変動への対応強化のため、「気候変動リスク対応専門部会」を新たに設置 ● TCFD対応の高度化のため、「物理的リスク」の定量的シナリオ分析を実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生可能エネルギーの導入推進によるCO₂排出量のさらなる削減 ● 2050年ネットゼロ目標のさらなる拡充 ● TCFD対応のさらなる高度化のため、「移行リスク」の定量的シナリオ分析を実施 等

環境負荷低減への取組み

グループ各社が協力して環境保護関連の目標を設定し、事業活動の中で達成に向けた取組みを進めています。

当社グループのCO₂排出量は、その9割以上が使用電力に由来しています。そのため、クールビズやウォームビズの実施、一斉消灯を呼びかけるライトダウンキャンペーン等によりエネルギー使用量を抑制し、CO₂排出量の削減に努めています。

CO₂排出量

(基準値) 2013年度のCO₂排出量(原単位/床面積あたり)=0.0674t/m²

(目標) 基準値に対し2025年度までに40%以上削減

(対象範囲) グループ各社が保有または賃借して使用するビル。保有ビルはテナント使用量を含み、賃借ビルは賃借部分を対象とする。

	基準値(2013年度)	2020年度実績
CO ₂ 排出量(Scope 1+2)	59,908 t	44,714 t
延べ床面積	888,529 m ²	950,959 m ²
原単位	0.0674 t/m ²	0.0470 t/m ²
対基準値(2013年度比)	—	69.7%(▲30.3%)

T&D保険グループでは、CO₂排出量以外にも、電力使用量、事務用紙使用量、グリーン購入比率についてグループ共通目標を設定し、環境負荷低減に取り組んでいます。

森林保全活動

生命保険のパンフレット・約款等、業務上さまざまな紙を使用する生命保険会社として、森林資源の還元と緑化保全を目的に、太陽生命では、栃木県と滋賀県に「太陽生命の森林」を設置し、森林保全活動を進めています。

太陽生命の森林

継続的に間伐や散策道整備などの森林整備活動を行うとともに、公益財団法人日本ダウン症協会のご家族をお招きして「森林教室」を実施しています。



栃木県那須塩原市

設立: 2006年3月
面積: 約4.8ha
CO₂吸収量: 19t
(林野庁評価)

太陽生命くつきの森林

林道整備やアカマツ林の落ち葉掻きなどの森林整備活動のほか、地元小学校と協働で、どんぐりから苗木を育て、卒業時に植樹を行う「どんぐりプロジェクト」を行っています。



滋賀県高島市

設立: 2007年11月
面積: 約12.7ha
CO₂吸収量: 81t
(高島市評価)



TCFDに基づく気候関連財務情報の開示

気候変動は地球規模の課題であり、その影響は世界の経済行動と社会の変化を通して人々の暮らしに大きな影響を及ぼします。T&D保険グループはTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に賛同を表明するとともに、わかりやすい気候関連財務情報の開示に積極的に取り組んでいきます。

ガバナンス	取締役会は、グループSDGs委員会を取締役会の下部機関として設置しています。グループSDGs委員会は、SDGsなど地球環境や社会的課題に関する基本方針と取組施策を定め、定期的に取り組状況のモニタリングを実施し、取締役会に報告しています。また、取締役会は、グループSDGs委員会の下部機関として気候変動リスク対応専門部会を設置しています。グループSDGs委員会で審議される内容は経営執行会議に報告され、審議結果は取締役会に報告されます。
戦略	気候変動により生じる当社グループへの影響(物理的リスク*1・移行リスク*2)を検証するため、以下のとおりシナリオ分析を実施しました。

*1 台風や洪水など異常気象による自然災害や、平均気温上昇や海面上昇などによりもたらされる事業上のリスク

*2 低炭素・脱炭素社会に移行(温室効果ガス排出量を大幅に削減)するための、行政・企業・消費者の行動によりもたらされる事業上のリスク

シナリオ分析

前提	1.5℃シナリオ: 厳しい温暖化対策を取った場合。今世紀末までに年平均気温は1.0~1.8℃上昇。 4℃シナリオ: 現状以上の温暖化対策を取らなかった場合。今世紀末までに年平均気温は3.3~5.7℃上昇。
-----------	---

1.5℃シナリオの世界	
概観	規制の強化や炭素税の導入。情報開示義務が拡大(企業の事業コスト増加)
物理的リスク(保険収支への影響)	熱ストレスによる死亡者数、熱中症搬送者数が大幅に増加 いずれも長期間かけて緩やかに上昇することから保険収支への影響は限定的
移行リスク(資産運用収益への影響)	再生可能エネルギー等の新たな技術が拡大 投融資先への影響に起因する資産運用収益の毀損を回避するため、低炭素・脱炭素社会への移行に貢献する事業・企業への投融資活動の推進などを適宜実施

4℃シナリオの世界	
概観	平均気温が大きく上昇するため、自然災害の頻発、激甚化による影響は甚大なものに
物理的リスク(保険収支への影響)	平均気温の大幅な上昇により、熱ストレスによる死亡者数、熱中症搬送者数とも、1.5℃シナリオよりもさらに増加
移行リスク(資産運用収益への影響)	1.5℃シナリオで想定しているような急激な環境変化は生じないため、投融資先への影響は、小さくなる 資産運用収益の毀損を回避するため、物理的リスクの大きな企業への投融資を回避・引き上げ

機会

新しいリスクに備える保障(死亡・年金・医療)へのニーズが生じることが想定され、ニーズに応える保障範囲の拡大・提供等により保険収益を拡大する機会があります。

リスク管理

リスクを網羅的に洗い出し把握・評価するとともに、各リスクの重要性、影響度等を勘案し、取組事項の優先順位付けを行うとともに、必要に応じ経営計画等への反映を行います。

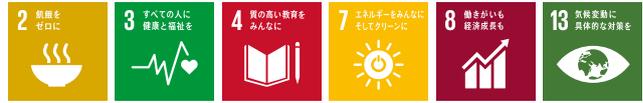
リスクの発生や既に認識しているリスクの変更を的確に認識・把握するため、年2回リスクプロファイルの見直しを行い、グループリスク統括委員会および取締役会に報告しています。

指標と目標

- グループとして「CO₂排出量の削減」「電力使用量の削減」「事務用紙使用量の削減」「グリーン購入比率の向上」の4つを目標に掲げ、その成果を各種レポート・ホームページ上で開示しています。
- CO₂排出量は、SCOPE 1(自社の直接排出)/SCOPE 2(電力など購入するエネルギーなどの間接排出)/SCOPE 3(原料調達、輸送、廃棄などその他の間接排出)を継続して測定・開示しています。
- CO₂排出量の削減目標は、SCOPE1+SCOPE2を対象とし、2025年度を達成期限として取り組んでいます。加えて、自社の投融資先(SCOPE 3: カテゴリー15)も含め、2050年までのネットゼロ達成を目指しています。
- 電力使用量の削減目標は、2018年度からの新しい10ヵ年目標に取り組んでいます。
- 事務用紙使用量削減目標は、2019年度からの新しい5ヵ年目標に取り組んでいます。

投資を通じた持続可能な社会への貢献

T&D保険グループは、環境・社会・企業統治に配慮した投資を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献します。



方針	2020年度の結果	2021年度の予定
<p>環境・社会・企業統治に配慮した投資を行うことで、長期安定的な収益の確保と持続可能な社会の実現に貢献し、社会とともに持続的に成長することを旨とする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 当社グループのESG投資に対する姿勢を表明する「T&D保険グループESG投資方針」を制定 ● ESG投資への対応強化のため、「ESG投資専門委員会」を設置 ● 環境問題の解決に貢献する「グリーンボンド」や新型コロナウイルス感染症対策に寄与する「ソーシャルボンド」への投資の実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会課題の解決に寄与する各種ESG投資の実施に引き続き取り組み、持続可能な社会の実現に貢献していく

責任投資原則 (PRI) への署名

太陽生命、大同生命、T&Dアセットマネジメントの3社は、国連が支援する責任投資原則 (PRI: Principles for Responsible Investment)*に署名し、環境・社会・企業統治の課題を考慮した投融資を推進しています。

Signatory of:



*責任投資原則 (PRI)は、2006年に国連事務総長であったコフィー・アナン氏が世界の金融業界に対して提唱した行動規範です。なお、同原則には、世界で4,200超、日本では95の金融機関等が署名しています(2021年8月現在)。

T&D保険グループESG投資方針

T&D保険グループは、グループ経営理念に基づき、ESG投資に対する姿勢を表明する「T&D保険グループESG投資方針」を定めています。機関投資家でもある当社グループにとって、投資を通じて持続可能な社会の実現に貢献することは、最も基本的な役割の一つです。環境・社会・企業統治に配慮した投資を行うことで、長期安定的な収益の確保と持続可能な社会の実現に貢献し、社会とともに持続的に成長することを目指しています。



「T&D保険グループESG投資方針」についてはこちらをご覧ください。

<https://www.td-holdings.co.jp/csr/csr-policy/esg.html>

T&D保険グループの石炭火力発電事業への投融資姿勢

石炭火力発電事業等の化石燃料関連事業は、気候変動や大気汚染などの環境問題に重大な影響を与える主要な要因の一つであることから、機関投資家の投融資姿勢がこれまで以上に重要になっています。

当社グループは、石炭火力発電事業への投融資について新規の投融資を実施しない方針としています。ただし、二酸化炭素回収・貯留 (CCS)、利用 (CCUS) の新技術の開発など、環境負荷低減につながる案件については、投融資の検討対象とする可能性があります。

ESG投融資の取組事例

環境問題の解決に貢献する「グリーンボンド」への投資

「スマートエネルギー都市づくり」[気候変動の影響への適応]の施策や、CO₂削減等の環境改善効果が期待される都市鉄道利便増進事業に取り組む自治体や独立行政法人の事業を資金面で支援する、グリーンボンドへの投資を実施しています。



人々の健康増進に寄与する事業を応援するファンドへの投資

「健康寿命の延伸」という社会的課題に応えることを目的に、医薬品、ヘルスケア、スポーツクラブ、健康食品等の事業を行う国内上場企業株式を対象とする「元気健康応援ファンド」および「日本健康社会応援ファンド」に投資を実施しました。



社会活動

太陽生命



全国中学生ラグビーフットボール大会への特別協賛

太陽生命は、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会(以下、日本協会)が主催する全国中学生ラグビーフットボール大会(太陽生命カップ)に、2011年度より特別協賛しています。また、日本協会とともに中学生ラグビーの日本国内における振興と発展、および青少年の健全な育成に取り組んでいます。

大同生命

大同生命サーベイ

2015年10月より、中小企業の景況感や経営課題への取組みを調査する「大同生命サーベイ」を毎月実施しています。営業担当者が全国約12,000社の中小企業から、経営者の“生の声”を直接お伺いしてまとめた調査レポートを、全国のお客さまにお届けするとともに、広く一般に公表しています。

大同生命WEBサイト
「大同生命サーベイ」



T&D
フィナンシャル
生命



「日本ろう者サッカー協会」と オフィシャルパートナー協定を締結

T&Dフィナンシャル生命は、2018年6月より一般社団法人日本ろう者サッカー協会とオフィシャルパートナー協定を締結しています。オフィシャルパートナーとして、活動のサポートや障がい者スポーツの振興を通じ、ろう者サッカー・フットサルの発展と普及に貢献してまいります。

被災地への支援

T&D保険グループおよびグループ各社は大規模災害などの発生にあたり、義援金の寄付や復旧作業の協力などの支援を行っています。2020年7月に発生した「令和2年7月豪雨」では、被災されたみなさまの支援や被災地の復興に少しでもお役に立てるよう義援金を寄贈しました。



新型コロナウイルス感染症への対応

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症への対応として、さまざまな取組みを行っています。一日も早い収束を願い、今後もグループ一丸となった取組みを続けてまいります。



お客さまへの対応

個人や中小企業向けのお客さまへのコロナに対応した商品のご提供や、安定した金融サービスの体制継続などを実施しています。

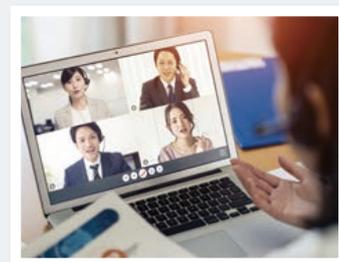
- ☑ 新型コロナウイルスも保障する「感染症プラス入院一時金保険」をいち早く提供(太陽生命)
- ☑ 株式会社justInCaseと協働して「コロナ助け合い保険」を無償で提供(大同生命)
- ☑ 保険料払込猶予期間・契約更新手続期間の延長
- ☑ 保険金・給付金、契約者貸付金の簡易迅速なお支払い



従業員への対応

お客さまへの安全を配慮し、非対面募集により対応するなど、従業員が安心して働ける環境の維持に努めています。

- ☑ 在宅勤務やサテライトオフィスを活用したテレワークの推進(緊急事態宣言下においては出勤率を30%に制限)
- ☑ 時差出勤の推進
- ☑ リモート会議ツールの活用
- ☑ 非対面募集を可能とするシステム・ツールの導入



外部よりいただいた評価

ESG評価機関からの評価

国際



FTSE4Good

2021 MSCI ESG Leaders Indexes Constituent

MSCI ESG Research logo disclaimer: THE INCLUSION OF T&D Holdings, IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF T&D Holdings, Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES

国内



FTSE Blossom Japan

2021 CONSTITUENT MSCI ジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2021 CONSTITUENT MSCI 日本株 女性活躍指数 (WIN)

主な受賞

「健康経営優良法人～ホワイト500～」に太陽生命および大同生命が5年連続で認定。



「プラチナくるみん認定」を生命保険会社3社、T&Dアセットマネジメント、T&D情報システムが取得。



「プラチナキャリア・アワード」優秀賞をT&Dホールディングスが3年連続受賞。



株式会社 T&Dホールディングス

〒103-6031 東京都中央区日本橋2-7-1 TEL:03-3272-6115(代)
https://www.td-holdings.co.jp/ mail:csr@td-holdings.co.jp

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。